

教材としてはBかもしれないが、しかし、悪い教材ではない。教材分析のモデルとして最適と考え、掲載した。

## 心をつなぐ音色(東京書籍6年) 教材分析表

展開前段の発問を作る手順 (先ず、教材文の各行に通し番号を打つ)

- 1 のぶ君の内面が微妙に変化するところに着目して、教材文を細かく分けて(区切って)いく。(場面分析)
- 2 各場面におけるのぶ君の内面を多面的・多角的に想像し、分析してすべて書き出す。(内面分析)
- 3 中心発問場面(本時のねらいに最も迫る発問:のぶ君の内面がねらいとする道徳的価値にあふれている場面)を1つ決める。
- 4 中心発問場面を支える基本発問場面を2つ決める。
- 5 3場面の発問の言葉をよく吟味して作る。(その時の「のぶ君の内面」が児童から全て出てくる問い合わせ方を工夫)

<本時のねらい>なりたい自分になるために、困難があっても希望や勇気をもって努力しつづけようとする心情を育てる

↑ 困難なことも多かったけど、「大好きなピアノ演奏を極めたい一心で諦めないで努力し続けてきて本当によかった」と、のぶ君が一番強く思っている場面が**中心発問場面**になる

1 場面の概要	2 のぶ君の内面	3と4と5 発問 (後藤撰)
① L1~L2 ショパン作曲の「英雄ポロネーズ」の演奏にご機嫌の赤ちゃん	<ul style="list-style-type: none"><li>・この曲好きだなあ</li><li>・かっこいい</li><li>・ウキウキ、ワクワク</li><li>・気持ちいい</li></ul>	
② L3~L4 句点 違うピアニストが演奏すると不機嫌になる赤ちゃん	<ul style="list-style-type: none"><li>・違うんだなあ</li><li>・僕が好きなのはこの人じゃない</li><li>・いつもの人の演奏にしてよ</li></ul>	
③ L4 句点~L8 いつものピアニストの演奏にご機嫌になる赤ちゃん	<ul style="list-style-type: none"><li>・これこれ</li><li>・かっこいい、最高</li><li>・気持ちいい</li><li>・ウキウキ、ワクワク</li></ul>	
④ L9~L11 (のぶ君のこと)		
⑤ L12~L17 音を聞き取って曲を覚え、上手にピアノを弾くのぶ君	<ul style="list-style-type: none"><li>・いい曲だな</li><li>・同じように弾けて嬉しい</li><li>・お母さんにほめられて嬉しい</li><li>・もっと上手に弾くぞ</li><li>・ピアノは楽しいな</li></ul>	
⑥ L18~L24 5才のときに家族以外の人たちから初めて温かい拍手をもらう	<ul style="list-style-type: none"><li>・一体何が起きたのだろう?</li><li>・この拍手と歓声は一体何だ?</li><li>・ぼくのことをほめているんだ。</li><li>・嬉しいな</li><li>・楽しいな</li><li>・ウキウキ、ワクワクするな</li><li>・これに限るぞ</li><li>・頑張るぞ</li></ul>	
⑦ L25~L27 本格的なレッスンを始めて、子どもピアノコンクールで優勝するようになる	<ul style="list-style-type: none"><li>・ピアノを弾くのは嬉しいな</li><li>・楽しいな</li><li>・みんなが真剣に聞いてくれる</li><li>・気持ちいいな</li></ul>	
⑧ L28~L30 大きなコンサートやテレビ番組に出演し、演奏するのぶ君	<ul style="list-style-type: none"><li>・お客様に喜んでもらえるように一生懸命演奏しよう</li><li>・お客様の喜びはぼくの喜びだ</li><li>・ぼくとお客様の心は繋がっているんだ</li></ul>	

⑨ L31～L33 17才 「ショパン国際ピアノコンクール」に出場するためワルシャワに向かう	・ショパンにぼくの演奏を聴いてもらえる ・あこがれのワルシャワに行けるぞ ・絶対頑張るぞ	
⑩ L34 二次予選進出決定	・次は決勝だ ・頑張るぞ	
⑪ L35～L39 句点 舞曲「マズルカ」の演奏の仕方が分からなくて悩む	・この曲を作ったときのショパンの気持ちが分からない ・このままでは落選する ・本物の「マズルカ」を感じ取りたい	
⑫ L39 句点～L45 句点 マズルカを踊る店に入り、人々と一緒に踊る	・やっと見つけた ・これがマズルカか ・全身で本物を感じ取ってやるぞ ・なるほど、分かった。これだ	
⑬ L45 句点～L51 句点 二次予選直前、先生に「もうこれ以上よくならない。ここまでよくやった」と告げられる	・諦めたくないなあ ・人生経験が足らないとだめなのかなあ ・人生経験が足らなくてもやれるところまでやってみたい ・やってみなければ分からない ・諦めないぞ	○先生に「もうだめだね。ここまでよくやった」と言われたとき、のぶ君はどんな気持ちになっただろう。、
⑭ L51 句点～L54 句点 二次予選での演奏	・ぼくのピアノが人々の心をとらえたんだ ・嬉しいな ・最高だな ・気持ちがいいな ・ぼくが本当に欲しかったのはこれだ	
⑮ L54 句点～L55 落選。決勝に進めなかった。みんなは泣いたがのぶ君は泣かなかった	・結果が出たのだから仕方がない。 ・これがぼくの終わりじゃない ・ぼくには未来がある、夢がある ・もっと人生経験を積もう ・もっと練習するぞ	○みんなが泣いているとき、のぶ君だけどんなことを考えていただろう。
⑯ L56～L57 3年後、世界最高峰の「バン・クライバーン国際ピアノコンクール」で優勝する	・ずっと努力してきてよかったです ・お母さん、先生、皆さん、本当にありがとうございます ・とうとう頂点に立てた ・努力は裏切らない ・この景色はなんて美しいんだろう	○「バン・クライバーン国際ピアノコンクール」で優勝したときののぶ君の心には、どんな思いがあふれていただろう。
⑰ L58～L60 のぶ君の世界	・ピアノの演奏は好きだなあ ・演奏しているときが一番幸せだ ・お客様達、ありがとう ・これからもピアノ演奏を極めていくぞ	

- 本時のねらいに最も迫る**中心発問場面**は⑯か⑰になるだろう。（どちらでも「可」だと思う。）
- 一方、**基本発問場面**の選択は多様で難しい。  
この選択には学級担任教師の個性や性格、キャリア、指導観、学級の実態などが大きく影響してくる。（だから学級担任がみんな同じ基本発問ということは普通あり得ない。）学年でたくさん議論し、そして最終的には学級担任が自分の意思で基本発問場面を決めなければならない。

ちなみに学級担任でない私は、中心発問場面を⑯、基本発問場面を⑬、⑮に設定したが、皆さんはどうだろう？